

品名 APMモードスイッチ
型式 MODE-2S(角スイッチ), MODE-2P(丸穴スイッチ)

本製品はプロポのボリュームまたはスイッチをAPM用モードスイッチに改造するための基板です。簡単な配線変更でモード1~6 がきちんと切替できます。

ケースに四角穴加工して取り付ける [角スイッチ] タイプとボリュームやスイッチの穴を利用して留める [丸穴スイッチ] の2種類からお選びください。
基板が他の部品と干渉するようならば、スイッチ別付けのタイプもご用意できます。
メールでお問い合わせください。

---- 仕様 ----

電源電圧	DC5V (プロポから供給)
消費電流	約1.5mA
切替出力	0~電源電圧まで
設定記憶	EEPROMによる永久保持
寸法・重量	11×38mm 厚さ15mm 約8g

---- 取扱い説明 ----

-- 改造方法 -- [プロポのボリュームは VR , スイッチは SW と記します]

- 1, プロポの変更したい VR または SW がAPMの Ch5 に設定できるかを確認します。
APMは Ch5 の入力モード切替入力となります。
- 2, プロポのケースを開けます。変更したい VR または SW の信号線と電源[+5V] [GND] をテスター等で確認しておきます。
- 3, 電池を抜いてから VR または SW の配線を MODE-2 基板に移します。
電源を逆に配線すると MODE-2 基板が破損します。慎重に確実に配線してください。
SW から変更する場合は 電源[+5V] を別の場所から取ります。近くの VR に[+5V] があればそこから配線します。
- 4, 配線が終わったら実際に電波を出して受信機の出力が指示されたPWM値になっているかを確認します。(下記の---設定と調整---の説明を参照)
- 5, 調整が済んだらプロポに MODE-2 を取付けて終了。
丸穴スイッチ を付けた時は付属のシールの裏紙をはがして貼り付けます。

-- 設定と調整 --

- 1, 受信機の Ch5 出力を見て, MODE-2基板裏面の UP/DOWN スイッチで調整します。
プロポ, 受信機 の機種によってばらつきが出ますので, 配線終了後 確実に確認してください。
受信機にAPMコントローラを繋いでミッションプランナー画面で調整する方法を説明します。
- 2, 受信機の Ch5 出力を APM の INPUT 5 に接続します。
PPM出力で接続する場合は そのままでokです。
- 3, ミッションプランナーを立ち上げて, [INITIAL SETUP] [Mandatory Hardware] [Radio Calibration] を選びます。
- 4, 画面の[Radio 5] の棒グラフとその下の数値が調整される数値です。
- 5, MODE-2 切替を"1"に合わせて[Radio 5]の数値が 1100 になるように UP/DOWNスイッチで合わせます。また, 各モードで下記の数値なるように調整します。
モード PWM数値
1 1100
2 1300
3 1400
4 1550
5 1680
6 1900
調整された内容はEEPROMメモリーに永久的に保存されます。

-- 注意点 --

- 1, +5VとGNDは確実に確認して配線してください。MODE-2基板が壊れます。
- 2, プロポのケースを開けるときは電池やバッテリーをはずしてください。電源スイッチを切っただけではプロポの基板上に電圧がかかっています。思わぬ事故を避けましょう。
- 3, 改造したプロポはメーカーの保証が受けられなくなる可能性があります。自己責任で作業してください。もしもの時は(修理依頼をするとき)もとに戻せるようはずした部品はきちんと管理しましょう。

-- 改造依頼 完成品販売について --

改造が難しいとお思いの方は, プロポ一式をお送りいただければ改造作業を行います。
費用は機種によって変動しますので, あらかじめ メールでお問い合わせください。
お送りいただくもの

- 1, プロポ送信機とその電池またはバッテリー
- 2, 上記用受信機 (バインドが取れているもの)
- 3, MODE-2の種類と希望する取り付け場所のメモ
(受信機 Ch5 に既存の VR もしくは SW を設定しておいてください)

MODE-2の取り付け, 配線と受信機出力の調整を行って返送します。

また, 参考ビデオにある Turnigy 9X プロポ MODE-2改造済み品 も販売しています。
メールでお問い合わせください。

以上